

# 東京医科歯科大学 お茶の水祭'01

10月20日・21日

## 第50回お茶の水祭，終幕!!

お茶の水祭実行委員長  
藤 岡 正 志 (M4)



今年のお茶の水祭は，10月20日，21日に行われました。この2日間天候にも恵まれ，昨年以上の大成功をおさめることができました。

今年，21世紀第1回目また第50回目として「新世紀医歯ん」をテーマに掲げ，新しいことにも取り組んで参りました。

お茶の水祭の準備にあたり，まず我々実行委員会が取り組んだのが，医科歯科らしい，医学歯学色の強い医歯学祭企画の充実です。歯科技工士学校，衛生士学校の充実した企画や医学科3年生による人体の不思議展，4年による寄生虫展，講演会，公開模擬授業や各サークルによる研究発表などが今年も行われ，どの企画も大盛況でした。やはりこういった企画がお茶祭の中心であり，お茶祭の特色です。

今年は節目となる50回目のお茶祭ということで，来客が見込まれる，そして盛り上がりを見せるステージ企画を派手に行いました。

特に中夜祭の電撃ネットワークライブ，ミス医科歯科ミスター医科歯科コンテストは今までにないほどの集客と盛り上がりを見せました。この結果には我々お茶祭委員全員が満足しています。こういうことを書くと，学長先生から再びポピュリズムに流れているとの指摘を受けてしまうかもしれませんが，良き伝統と新しい流れとの融合こそが我々の目指したものであり，それによって新しいものを作り出していこうと試みました。

また電撃ネットワークのライブでは患者さん，病院関係者の皆様に多大な迷惑をかけてしまい

## 目 次

- お茶の水祭 '01 24
- 世界躰道選手権大会で個人優勝 34
- 解剖体慰霊式追悼の辞 35
- 医学科合宿研修 36
- 4大学レガッタ 37
- 「2001年外国人学生のための進学説明会」に参加して 38
- 2001年度（後期）日本語教室開講 39
- 「日本語研修コース」開講式—留学生センター— 40
- 平成14年度4月期国際交流会館の入居募集 40
- 平成14年度前期授業料免除申請受付 41
- 平成13年度日本育英会奨学生推薦状況 42
- 平成14年度入学者選抜 43
  - 募集要項の配布 43
  - テレホンサービス 43
- 平成13年度定期健康診断結果 44
- 宿泊施設案内 47
- 学生サークル組織状況 48
- サークル紹介 49



ましたが、年に1度、そして第50回ということでご容赦いただきたく思います。

その他新しい流れとして4大学連合が挙げられます。4月より会議を重ね、互いに協力してきました。その成果は4大企画の実現とパンフレットに4大学連合の歩みが各大学で載るといふ形で得られました。

日本社会が様々な組織、企業の統廃合や再編成、連携が行われる中で、学園祭でも学外団体

と協力して行うことは時代にも即しており大変意味のあることだと思います。

最後になりますが、お世話になった先生方、事務職員の方々、先輩に感謝いたします。そして最高のお茶祭と一緒に作り上げた、お茶祭委員のみんなに本当に感謝しています。来年以降のお茶祭がさらなる発展をすることを祈りつつこれで終えたいと思います。

## お茶の水祭—本部企画—

### 公開模擬授業 学長賞

千葉 佐保子 (M4)

お茶の水祭委員会公開模擬授業担当という役目を最初は簡単に引き受けてしまいましたが、お茶の水祭当日までの道のりは苦労の連続でした。しかし、終わってみれば例年よりも多くの受講者の方がいらしてくださり、また学長賞も頂くことができ、大成功だったと思います。これも、私達の手際が悪かったにもかかわらず快く引き受けてくださった佐藤先生、藤田先生、木野先生のお陰です。本当に有難うございます。最後に、準備や当日の仕事を手伝ってくれたお茶の水祭委員の人たち(特にいのやん)、どうもありがとう。

古謝 志麻 (M4)

今回、お茶の水祭に参加して、いろんな経験をさせていただきました。はじめは公開模擬の仕事を引き受けた時はあまり深く考えていませんでしたが、実際に携わってみると、とても大変なもので、さらには学園祭がこんなにもいろんな人の無償の協力によって成り立っているということ、身をもって感じました。しかも、学長賞までいただいて、ほんとうにやってよかったなという思いで一杯です。それも、快く講義をお引き受けして下さった先生方、ならびに色々助けてくれた委員長始め実行委員の人々の協力(特にいのやん)、がなくてはできないものでした。本当に感謝しています。ありがとうございました!!



おがわ えり  
小川 絵梨 (M4)

今まで学校行事にあまり参加しなかった私が、今回委員の依頼を受けた時は困惑しました。準備は、思っていたよりも大変で、休みを返上して看板の制作など行った時等、普段体を動かさない分、限りなく限界に近づきましたが、委員長始め多くの人たち（特にいのやん）の頑張りに後押しされ、やりぬくことができました。私達の手際の悪さにもかかわらず、模擬授業を快く引き受けてくださった佐藤達夫先生、藤田紘一郎先生、木野孔司先生、本当に有難うございました。

## 講演会から

担当：木原 きはら あつし 淳 (M4)

第50回お茶の水祭講演会においては、以下の2講演を行いました。

- (1) 「こころ」を見つめつづけて  
～心臓血管外科を通して～  
講師 須磨久善氏  
(葉山ハートセンター名誉院長)
- (2) よい医療・よくない医療  
～治療や検査の要・不要を見分ける～  
講師 近藤 誠氏  
(慶応義塾大学医学部放射線科講師)

この2つの講演を通して、本学関係者だけでなく一般の方にも、患者と向き合う第一線の医師のことに触れてもらうことが第一の目的で



した。講演会当日は大勢の方に御来聴いただき、担当者としては一安心というところです。

須磨氏はNHKにて日本初のパチスタ手術が取り上げられ、そのみがクローズアップされているようですが、今回は中学生時代に医師を目指したきっかけから現在に至るまでのプロセスや意思、信念などを力強くお話しになりました。単に高名な心臓外科医なのではなく常に患者のためにベストを尽くす一医師の姿を見ることができました。お話の最後の Surgeon's triple "C"(clean, clear, clever) は、外科医のみならず医療に関わる誰もが心に留めておきたいものです。

近藤氏は「患者よ、がんと闘うな」などの著作があり、いろいろと物議を醸しだしている方です。この講演ではがんに限らず、高血圧、高脂血症、放射線治療など多岐に渡り、様々なデータを示しながら異なる視点からの見方というものを話しされました。中には、医療関係者しか目を通さないようなデータもありましたが、一般の方々にも分かりやすく説明されていました。

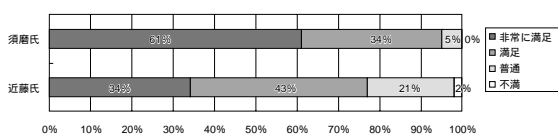
各講演終了後、アンケートを実施しました。その結果の一部を以下に紹介します。回収率は50～60%ほどと思われます。

### 1. 入場者について

両講演とも各年代の方が、そして様々な職業の方がお越しになりました。ただ、須磨氏の講演には大学生や高校生を中心とする学生及び医療関係者が多かったのに対し、近藤氏の講演では会社員をはじめとする30代から50代の方が多いという特徴がありました。中には中学生の方や81才の方までみられ、医療への関心が幅広い年代や職業に渡っているものと伺えます。

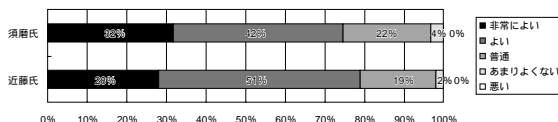
### 2. 講演の満足度

須磨氏の講演では9割の方が「満足」「非常に満足」と答えており、うれしい限りです。感



想には、医師になる上での心構えを正された、外にいた学生にも聞いて欲しいなどの他に、最先端の医療・研究についても聞きたかったという要望もありました。近藤氏の講演も7割の方が満足と感じています。分かりやすかった、患者のことを考える姿勢が伝わってきたという感想があった一方、データの羅列でよくなかったという意見もありました。

### 3. 会場の雰囲気



両講演とも7割から8割の方が「非常によい」「よい」を選んでいました。しかし「あまりよくない」とされた方もいます。須磨氏の講演では、質疑応答における私の司会の不手際があり申し訳ないことをしました。また、マイクの調子が悪い、3階のお茶管の楽器が気になったという意見がとても多く、来年度は会場準備の徹底や時間帯の調節などで対応する必要があると思われます。両講演で90分という時間が短く質疑応答が不十分であるという指摘もありました。

外部から人を招き、そして内部のみならず外部にそれをアピールし、ひとつのものを作り上げる。「単科」大学という閉じられた世界に慣れてしまった私たちには、外部、特に一般の方々積極的に働きかけるのはとても骨の折れることではありますが、これからの医科歯科大学では必要とされることであると思います。このような経験をすることができて、たいへん満足しています。担当がたったひとりで、はじめは一体どうなるかと思いましたが、無事終了する

ことができました。快く手伝ってくれた仲間から心から感謝したいと思います。久保くん、古謝さん、千葉さん、小川さん、端本くん、杉山さん、小泉さん、臼井さん、木戸さん、河本さん、玉置さん、そして関わってくれた皆さん、ほんとうにありがとう！

## 中夜祭報告

担当：清川 佑介 (M4)  
 佐藤 公太 (M4)

4月中旬のある穏やかな昼下がりに、いつものように昼寝を楽しんでいると隣から一言、「芸能人と知り合いになりたくない？」ここから私たちのお茶祭がスタートしました。

タレントの選定にあたっては、5、6月にかけて学生にアンケートを行い、人気と予算を考慮して仲介業者に依頼しました。が、その答えは「駄目でした」というもの。いきなり壁にぶち当たり途方に暮れているとき、ちらっと目に入った『電撃ネットワーク』の写真。過激なパフォーマンスで世界を沸かせてきたアーティスト達です。過激という言葉に脅えながらも出演依頼をすると、なんと即決定となり、それから10月20日(土)の中夜祭当日までは仕事に追われ、あれよあれよという間に時間が過ぎていきました。

当日は会場を埋め尽くすほどの観客がステージを見に訪れてくれました。電撃ネットワークの方々には、ドライアイス・ロウソク・ロケット



花火・爆竹などのアイテムと自身の体を駆使し、噂に違わぬパフォーマンスを披露。中夜祭は大変な盛り上がりとなりました。

すばらしいライブを見せて下さった電撃ネットワークの皆様、快く協力して下さいました学生課の方々・消防署の方々、中夜祭に携わって頂い

たすべての方々に深く感謝を申し上げます。また病院関係者の方々には大変ご迷惑をお掛けし、申し訳ございませんでした。

最後に、声を掛けてくれた藤岡委員長、楽しかったです、ありがとうございました。

## チャリティーバザーおよびフリーマーケット無事終了のお知らせ

すっかり秋も深まり時折肌寒さも感じられる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

このたび10月20、21日の両日当大学内で行われましたチャリティーバザーおよびフリーマーケットを大成功のうちに終えましたことを、ここにご報告いたします。チャリティーバザーの収益金およびフリーマーケット参加費は32万円余りにのぼり、その全額を社団法人やどかりの



里に寄付いたしました。やどかりの里は、学生が教養部における人間科学の実習で毎年お世話になっている、精神障害者のための社会復帰施設です。今回の寄付金は国際交流費として日本とアメリカの精神障害者の方々の交流のために役立てられます。バザー委員一同、このような形で貢献できることを喜ばしく思っております。

各教室、看護部の方々にはチャリティーバザーの主旨を理解していただき、快く品物を提供して下さいましてありがとうございました。今回の成功は皆様のご協力あってのもの、委員一同大変感謝しております。

2001年度お茶の水祭実行委員会

チャリティーバザー・  
フリーマーケット担当

はやかわ えり  
早川 恵理 (M4)  
はらだ えりこ  
原田江里子 (M4)  
まつもと あきこ  
松本 暁子 (M4)  
やまもと さやか  
山本紗也香 (M4)

## 第50回 お茶の水祭 表彰団体

### 人体の不思議展

### 学 長 賞

今年は、解剖企画を医学部3年生80人全員で取り組む事にしました。昨年よりご遺体の一般の方への公開許可の是非をめぐり、大きな反響をよんでいるご時世を鑑み、直前まで激しく討論し、結局、一般公開をやめ、様々なアプローチから医学部で学んでいる事を発表する事になりました。例年のように試験の日程上、実際に準備に費やせた期間は、当日を含めわずか2日間でしたが、まずアイデアを募り、資料を集めるところから始まり、全てを0から作り出した今回の展示、迫力には欠けるものながら、内容は多岐に渡り密度の濃いものであったと思っています。特にテーマ『献体』は、若い中高生を始めとして、一般の方にとっては聞き慣れない内容だったらしく、医学と関わりの深い『死の本質』について考えるきっかけとなってくれたようで、私達M3一同世間に教育観の一部を投射できた事を喜ばしく思っています。

最後になりましたが、今回の展示にあたり、ご多忙中の中、様々な助言をくださった佐藤教授を始め、解剖学教室の諸先生方、実行委員の



先輩方のご厚意に深く感謝します。

やまもと  
山本 あつし  
篤 (M3)

### 公衆衛生予防医学研究会

### 医 歯 学 祭 賞

私たちがつくる公予研は、正式には公衆衛生予防医学研究会といい、本学唯一の医学系サークルとなっています。何をやっているのかわらない名前のサークルですが、少ない人数で頑張っているんです！何をしているかという、毎週一回集まって医療、保健に関するテーマでのディスカッションなどが中心です。



そんな私たちの一年の活動の区切りがお茶の水祭となるわけですが、今年はそのお茶祭で医歯学祭賞を頂くことができました、部員一同大変感激しています。思えばお茶の水祭の前日、みんなで夜中の12時まで残って展示の準備しました。夏休みを使って冊子に載せる原稿を書きました。今回の受賞は、そんな苦労もふつとぶくらいの喜びです！

医科歯科大の皆さん、私たち公予研は皆さんの知らないところでこんなことをやっているんです。そんな私たちが今後どうぞよろしく...

うしおだ  
潮田 あや  
彩 (N3)

### 私の考える上顎6番

医歯学祭賞を受賞したときは信じられない気

持ちで一杯でした。クラスメイトからも本当に自分たちが?という声も聞かれました。

私たち本科2年は「私の考える上顎6番」という題で出展いたしました。これだけ聞くとなんのことだ?とお思いの方もいると思いますので少し紹介させていただきます。上顎6番とは上顎第一大臼歯(前から数えて6番目)のことです。この歯は、上下の歯牙の咬合(かみ合わせ)においても、乳歯から永久歯への生え変わりの段階においても、また技工の練習として歯型彫刻をするにおいて全ての歯牙の特徴をそなえていることからして、最も重要な歯と考えられています。その歯をクラスの各自が思い思いのオリジナルの発想で創造し、自分で考えた上顎6番を自分なりの形で表現しようということになりました。この独創性と伝達力はこれからの技工士にとって重要なファクターとなってくると考えるからです。お茶祭当日にはパンになったり、クッションになったり、ルアーになったり、メカになったり、花になったりした上顎6番が教室のなかに展示されました。展示に使用した教室には私たち本科2年生の他に本科一年生による鑄造物の展示と研究レポートや実習科1年生によるデザイナーズデンチャーというカラフルで面白い義歯の展示があり、2日間で200人以上の来場者を記録しました。私たち技工士は日常様々な制約のなかで技工物の製作をしなければなりません。今回自由な発想で物作りをして、創造の楽しさ、そして自由の難しさを再確認しました。そして、この経験を今後の技工に



生かしていきたいと思います。最後にこのお茶祭の場を提供して下さった諸関係の皆様へ深く感謝いたします。ありがとうございました。

富川 紘一(歯科技工士学校本科2年)

### 非営利団体賞

#### ピアノの会

ピアノの会が主催いたしましたお茶の水祭ピアノコンサートが非営利団体賞を受賞するという栄誉に恵まれました。ピアノの会は毎年お茶の水祭にてコンサートを催し、部員の日頃の成果を披露するとともに来聴されたお客さまに音楽の美しいひとときを楽しんでいただけるよう努力しております。今回賞を頂きましたことは誠に部員の励みになります。今後のピアノの会の活動への道標ともなりましょう。ピアノの会では12月の本学医学部附属病院でのクリスマスコンサート、来年初夏開催予定の市民フォーラム「医学講座とピアノ演奏会」など、様々な企画を計画しております。お茶の水祭コンサートでの成果がこれら企画で活かされることを願って止みません。



最後になりましたが、このピアノコンサートを開催するにあたり、お茶の水祭実行委員会の方々、ピアノ調律に御尽力くださった学生課の方々、そしてなにより御来聴くださった皆様へ、心からお礼申し上げます。ありがとうございました。これからもピアノの会をよろしく願いたします。

はしもと たかし  
端本 宇志(M4)

## SSIA～タイ風焼きそば「パッタイ」

## 営利団体賞

うちのパッタイが賞に選ばれたと聞いた瞬間、「やったー！」と思わず心の中で叫んでしまうくらい感動しました。思えば構想1年(大袈裟ではありません),タイの友達に麺を20kgほど持ち込んでもらったり、ほとんどイメージだけは僕の独善だけで進めて行ってしまいましたが、みんなが本当に力を合わせてくれてがんばってくれたからこそ受賞に至る成功を収めることができたと確信しています。なんと店を回転させるのに6人以上も必要だとは当日まで気づきもせず、調理の方法も当日になってタイの大学院生に修正してもらったりなどドタバタしましたが、これほどみなさんに喜んで食べていただいたことを知るだけでも感動です。

来年以降もさまざまな味を提供していきたいと考えています。今後ともSSIAにご注目を。

小野<sup>おの</sup> 法明<sup>のりあき</sup>(D5)



## 委員長賞

## ミスター医科歯科コンテスト

お茶祭が終わって1週間。風邪をこじらしてしまって困っています。原因はミス・ミスター医科歯科を頑張りすぎたことによる免疫力低下。しかし、企画の責任者をやらなければよかったとは決して思いません。



なぜなら、普段の学校生活では得られないものをたくさん得ることができたからです。教養部以来の医学部生との久々の交流や、大学合格以来の達成感、一緒にがんばった仲間の暖かさ、等々。その素晴らしさを言葉ではうまく表せないくらいです。

ミスター医科歯科コンテストは、「いい男を見たい!」という安易な考えで始めた企画でした。実際にやってみるととても大変で、私を責任者に任命した実行委員長を何度も恨みましたが、今では貴重な経験をさせてくれたことをとても感謝しています。

大学に入り、毎日だらだらと生活している人も多いと思います。そんな人は是非お茶祭で頑張ることをお勧めします。きっと一生懸命になってがんばれる自分がまだいることに気づき、大きな自信になるだろうと思います。

瀬戸<sup>せと</sup> 麻子<sup>あさこ</sup>(D4)

## ミス医科歯科コンテスト

ある昼休みに談話室で四大企画をノリで安うけあいした時からボクの苦悩の日々は始まりました。紆余曲折の末に企画はミス医科歯科に決定したのですが、そこからはさながら地獄のような日々でした。公募は集まらず、出演依頼はことごとく断られ、企画内容は次々と拒否されました。終いにはこのまま人間嫌いになるんじゃないかと思っていたのですがミスター医科歯科責任者の瀬戸さんをはじめとして多くの人





たちの力添えのおかげでなんとか踏みとどまることが出来ました。そんなこんなで？当日にはすごく沢山のお客さんが集まり企画は成功を収めることができました。出場者の方々、スタッフのみんなほんとうにありがとう。

おおた きよぶみ  
太田 浄文 (M4)

#### 第4回カラオケ医科歯科杯の報告

本部企画担当 すずき みちたか  
鈴木 道隆 (M4)

今年のお茶の水祭におけるカラオケ大会「カラオケ医科歯科杯」は、土曜日の午前中に駐車場ステージにて行われました。今年で4回目を数え、もはや定番として位置付けられつつあるカラオケ大会ですが、第1回～第3回は前日までに3～4人しか集まらず、担当者が出場者集めに奔走していたのを思い出します。第4回を迎えた今年は学内での認知度も高まったようで、事前の出場者募集で10人を超える希望者があり、当日は飛び入り出場も現れ、予定時間をオーバーする盛況のうちに無事終了しました。来年度以降も、屋台の並ぶ駐車場付近会場に音楽で賑わいを与えるイベントとして開催されていくことでしょう。

最後になりましたが、当日ご多忙の合間をぬって審査員をしてくださった大谷教授、烏山教授にはこの場を借りまして再度御礼申し上げます。

#### 受験相談コーナーの報告

からがま しゅん  
唐鎌 淳 (M3)

お茶祭恒例の受験相談コーナーが今年も開催されました。我々の思惑、会場のキャバを軽く越えた300人以上の方に御来場いただき、ほんと、なんと感謝してよいかわかりません。ありがとうございました。また、最終日の夕方、時間の都合で会場を撤収せねばならず、せっかく並んで待っていただきつつのに御相談に応じることのできなかった皆様、ほんとにごめんなさい。次回への反省材料にします。

振り返ってみると、今年は例年に比べ、高校生以外の方の御来場が目立ちました。過去2年、高校生（特に2年生）の多さを目の当たりにしていた我々は少なからず当惑しましたが、同時に、若輩である我々の話にも真面目に応じてくださることを非常に嬉しく思いました。今年は学士編入に関する相談要員も配備し、より広い層への相談ができたのではないかと思います。もちろん、高校生たちとの会話もとても楽しかったです。若いエキスを胸いっぱい吸い込みました。

そんな感じでまだまだ発展途上ですが、来年もよろしくをお願いします。



## 寄生虫展の感想

本部企画湯島寄生虫館 代表 おたべこうじ 小田辺浩二(M4)

大好評だった去年に引き続き、今年もお茶の水祭で寄生虫展を開催することが出来ました。入場者数も二日間で1000人以上の大盛況でした。今年はずっと多くの人に寄生虫に興味を持ってもらおうとさまざまな新企画を試みました。



例えば目黒寄生虫館の協力でポップでかわいい寄生虫グッズの販売会をしたり、実際に魚屋さんで売っている魚を解剖して、生きている寄生虫がどのように魚の中に入っているのかを実際

に観察してもらったりしました。特に生きてる寄生虫を目の当たりにした来訪者のみなさんは、驚きとともに興味深い様子で見学なさっていました。

さらに本学医動物学教授の藤田紘一郎教授の著作のサイン即売会を行いました。テレビや新聞を通じて活発な活動をなさっている先生の、現在の清潔を求めすぎる日本の傾向に警鐘をならし、時間的・精神的な豊かさの回復を訴える内容の本は多くの人に関心を集めていました。

最後に標本の準備や打ち合わせに多くの時間を割いてくださり当日も様子を見にきてくださった医動物学教室の先生方、寄生虫展に快く協力してくださった目黒寄生虫館の内田先生、去年の資料をわかりやすく整理して残してくださったM5の木本さん、そして朝早くから夜遅くまで協力してくれた伊藤さんを中心とするM4のみなさん、ありがとうございました。また来年もこの企画が引き継がれ、成功することを期待しています。

## 後夜祭報告

おな まさひろ 小奈 正弘(D4)

電話の向こう側で藤岡君が泣きそうな声で「後夜祭担当してくれよ」と。急遽後夜祭を任されてしまい本当にびっくりしました。こんなことになったのも副委員長の戸次君がかたくなに仕事を拒否していたためです。そのため、後夜祭担当のお茶祭委員のテンションは低く、どうなってしまうだろうと何度思ったことか。しかしそこは僕の見込んだ仲間達、前日の準備からは本当に頑張ってくれました。今年は賞品を豪華にしようと言うことで、ピンゴの特賞は「万座プリンスホテルペア宿泊券2日間リフト券付き」。お茶祭委員の荒井君がかっさらって

いきました。その他にも豪華賞品を用意しましたが、終わってみれば例年通りといった感じでした。何はともあれお茶祭を無事締めくくることが出来て良かったです。最後になりますが、後夜祭担当以外の方々、疲れているにも関わらず手伝ってもらいありがとうございました。本当に感謝しています。



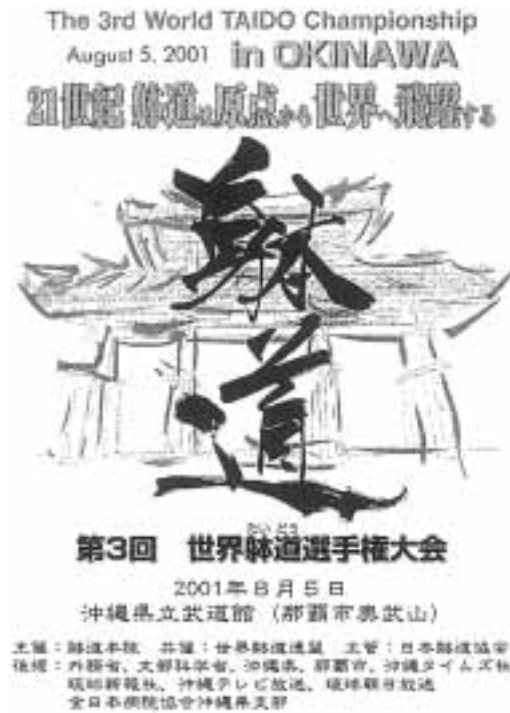
## 医学部生が

## 世界躰道（たいどう）選手権大会で個人優勝

8月5日（日）に沖縄県立武道館で行われた第3回世界躰道選手権大会男子個人法形競技で、東京医科歯科大学医学部医学科4年生宮下宏紀選手が見事優勝を果たし、鈴木学長にその報告を行った。鈴木学長からはその功績を称え、「優勝することはすばらしいことだ。これからも頑張ってください。」と激励の言葉がかけられた。

躰道は沖縄の玄制流空手から派生した新しい武道で、世界選手権は4年に一度行われる躰道の祭典ともいえる大会であり、今大会は世界8カ国から多数の選手が参加し盛大に開催された。

躰道界では東京医科歯科大学躰道部の歴史は長く、強豪として知られており、今回の世界大会にも個人戦に宮下選手と堀内選手の2名が参加し、また、団体展開競技には東京医科歯科大学躰道部が日本代表チームとして出場し、世界第5位という立派な成績を残した。



優勝杯を手にした宮下選手



躰道部の皆さん

築地本願寺において

## 解剖体慰霊式行われる 平成13年10月24日

## 追悼の辞

東京医科歯科大学学生代表  
石田雄之(歯学部4年)



東京医科歯科大学解剖体慰霊式にあたり、医学部歯学部 of 学生を代表いたしまして深く哀悼の意を捧げます。そして、本日この式に参加していただいた御遺族の皆様におかれましては、故人の方々の御遺志とはいえ、とても複雑な心境の中で暫くの間、尊い御遺体を私達に預けてくださる決意をしていただいたことに、心より感謝いたします。

私が解剖学実習を終えてから早一年が経とうとしております。今思い起こしてみますと、私達はこの実習を通して様々なことを学びました。身体の構造の精巧さに眼を見張り、その繊細さに驚き、また人間の死そのものと真正面から向かい合うことで、生の重みを身体で感じました。そしてなにより、私達に医療に携わる者としての自覚を授けてくださいました。こうして考えてみますと、献体してくださった方々は、私達の最良の先

生であったような気がしてなりません。

私達は実習の最終日に、解剖学実習を通して様々なことを教授して下さった御遺体に、感謝の気持ちと親愛の念を込めまして、花束をお供えし黙祷を捧げ、最後のお別れをさせていただきました。

私達医歯学生がこのように毎年解剖学実習を行い、無事終えることができますのは、献体して下さった方々の将来の医学歯学の進歩・発展のために自らの身を捧げてくださるという尊い御遺志と、御遺族の皆様深い御理解と御協力なくしてはありえませんでした。学生を代表して、重ねてお礼申し上げます。

最後に、いままでも、そしてこれからも、この実習で得られたことを忘れずに献体して下さった方々、そしてその御遺族の皆様への御期待に応えることができるよう、私達医歯学生は日々研鑽し続けることをここに改めて決意するとともに、故人の御冥福を心よりお祈りいたしまして、追悼のことばとさせていただきます。



学生による献花

## 平成13年度医学科合宿研修を終えて

千葉県厚生年金休暇センター（千葉市にて）

医学科5年  
はたの 秦野 ゆう雄

気が付けば我々は5年の月日を医学の学習に費やしてきた。この長いとも短いとも言えない月日を思い思いに過ごしてきたが、少し現実を見て自分自身を省みる。今回の医学科合宿研修にあえて意味合いをもたせる必要があるのかは疑問ではあるが、研修を終えてみてそういったことをふと感じたのは私だけではないのではと思っている。この感想をもとに合宿研修を振り返ってみたいと思う。

一体そもそもの目的は何であったのか？きっとそれは、教育をするものとされるものとの対話であり、医学における先輩と後輩との交流であったに違いない。その目的のもとに我々は集まり、教育に対する教官と学生の考え方の異同を認識し、医者として一人の人間としての悩みや喜びを共有したのだと思う。こういった具体的な行為を通して自分自身の将来を様々な先輩の姿に重ねつつ模索する。更には教育や様々な制度の中で、自分自身をどれだけ自分の理想とする医師像に近づけていくかを思考する。我々



を実際にこのように動かし、更には自分自身が目標としていたものに一步近づいたという感慨を覚えさせてくれたのは、研究者としてあるいは医者として歩んできた先生方のまったく衰えることを知らないエネルギーであったのではないかと感じている。また先生方自身も時に支離滅裂でもある学生の考えに耳を傾けてくださり、非常に真摯に対応してくださった。その中で先生方も何かを感じてくださったに違いないと勝手に考えさせていただいている。

色々大義名分を述べたが、医学科合宿研修において大切であったことは、口を開き、酒を飲み、対話をするということであったのだろうと感じている。最後に、我々に色々考える機会としての、そして先生方の非常に興味深い話を聞く機会としての合宿研修を用意してくださった学生課・学務課の方々にはとても感謝している。



グループ座談会

医学科5年  
上野 真紀子

毎年秋に医学科5年生を対象に行われる合宿研修が、9月下旬に一泊二日で行われた。出発の日、雲ひとつなく晴れわたった美しい日で、教授をはじめとする錚々たる顔ぶれの先生方とお話をするという緊張感を和らげ、さわやかな気持ちにさせてくれたのを覚えている。

この合宿研修は、臨床実習が始まる前の学生が、各自の進路について考えるにあたり、この機会に先生方に相談や質問をすることができるように行われた。研修中、私たちは本当にたくさん先生方のお話を伺うことができた。私自身も、多くの先生方から、ためになるお言葉をいろいろいただいた。その中でも、私にとって最も良かったことは、麻酔科の麻生佳津子先生とお話できたことだと思っている。先生は、医師として働きながらも、ご家族のことを何よ

り大切に生きてこられた方だということが、お話をしているととてもよくわかった。私も先生のように生きていけたらと思った。私はそれまで、自分の進路について考えるたびに、仕事・結婚・子育ての3つが頭をぐるぐる回るだけで、どうしたらよいのか全く見当がつかずにいた。医師として働いていけるのかも不安だった。でも、先生は心配しなくても大丈夫と励ましてくださり、私も、これからどのような進路を選ぶにしても、医師としてがんばっていく勇気をもつことができた。

この合宿研修では、楽しく有意義な時間を過ごすことができた。参加していただいた先生方には、お忙しい中私たちのためにお集まりいただいたこと、そして、私たちに対してたくさんアドバイスをくださったことに、この場を借りて、お礼を申し上げたいと思う。本当にありがとうございました。

## 4 大学レガッタ

11月23日（金・祝）に、4大学連合の東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学との間で、本学鈴木学長及び一橋大学石学長を始めとする各大学関係者が大勢出席しての盛大な対校レガッタ「第一回4大学レガッタ」を挙行しました。

本大会は、科目間の学術連合が達成されるのに先行して学生間の連携を深めたい、という趣旨で創設されました。今年は一橋大学が主幹校となり、同校の学内レガッタに併催される形で執り行われました。各大学の対校クルーが、冬合宿前半の成果を初冬の湖面上に競い合いました。

種目は男子・女子シングルスカル（1人乗り）、男子・女子ダブルスカル（2人乗り）、男子舵手付きフォア（4人乗り）の5種目で争いました。

結果は本校が5種目中、男子シングルスカルと男子ダブルスカルの2種目を制覇し、一橋大と並ぶ優秀な成績を収めました。

大会終了後、三菱艇庫にて表彰式及び4大学懇親会がOB参加の立食パーティー形式で行われ、表彰状の授与等が行われ、終始友好的なムードで大成功のうちに大会を終えることができました。

来年度以降も12月23日（月・祝）に第二回4大学レガッタを執り行うこととなりました。ぜひ多くの方々の御観戦・御声援をお待ちしています。詳細はお近くのボート部員にお問い合わせください。

今回の大会運営にあたり、多くの学内・学外関係者の御協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

ボート部主務 小田辺浩二

## 「2001年外国人学生のための進学説明会」に参加して

留学生課  
専門員 阿部 浩

この度、9月9日(日)池袋サンシャインシティ文化会館で開催された、「2001年外国人のための進学説明会」に、本学は今回で2度目の参加となります。

この説明会は、(財)日本国際教育協会が主催するもので、東京会場の他大阪でも9月2日(日)に開催されました。開催趣旨は、日本国内において、日本の大学等の高等教育機関への入学をめざしている外国人学生に、それぞれの目的に合った大学等を的確に選択し、入学準備が進められるよう最新の情報を提供し、来場した外国人学生が必要な情報を入手し、入学準備に取り組みめるように個別の進学相談に応じるため、文部科学省が補助事業として、平成5年度より毎年開催されています。

今回、本学から留学生センターの都河教授、鈴木入学試験掛長と、私阿部(留学生課専門員)が当日説明に当たりました。

今回は、この東京会場に196の大学等(国立大学51、公立8

大学、私立大学135、2機関)が参加し、来訪者数も3,803人と昨年より11%増加(昨年3,409人)し、本学ブースにも42名の方々が相談に訪れ、この他に資料等を求めに来た外国人も多数あり、午後4時に終了しました。

本学ブースを訪れた外国人学生の大多数は、現在日本語学校に通っており本学の学部・大学院に入学を希望していました。

また、主な質問内容は①学部・大学院への入学手続き関係、②専攻生の入学時期、③専攻分野及び指導教官との連絡方法、④入学金・授業料、⑤奨学金の受給等が主な質問でありました。

今回、この外国人学生進学説明会に出席し感じたことは、本学ブースを訪れた外国人の多く

は中国籍の方で、日本語学校に通い日本語を勉強した後、本学の学部・大学院に入学を希望している方々で、これらの私費外国人留学生に対し、本学の最新の情報をこの機会に、的確に伝えることも有意義と考えています。



池袋サンシャインシティ文化会館における説明状況  
(向かって左が都河教授、右が筆者)

## 2001年度（後期）日本語教室開講

本学の留学生が、医・歯学を学ぶ上で基本的に必要とする日本語を習得し、研究活動に積極的に参加するため「日本語教室」を湯島地区5号館2階の第4ゼミナール室及び駿河台地区の留学生センターで、10月15日（月）から授業を実施しています。

この日本語教室は、留学生個人の日本語能力を更にアップさせるために行われているもので、受講希望の留学生はプレメントテストを受け、各人の日本語能力に応じたクラス分けを行い、授業を行っています。

また、忙しい合間を縫って一生懸命に勉強している留学生を支援するとともに、日本語のみならず留学生相互の親睦、情報交換や憩いの場として活用されています。

## 《開講期間》

平成13年10月15日（月）～平成14年2月15日（金）の15週

## 補講 Hokou for Graduate Students and Scholars

	月		火		水			木		
9:00 - 10:30			医学事情 都河 センター長室					医学用語 都河 センター長室		
4:30 - 6:00 Room	B 1 金山 Sem 4	M 2 北村 201	B 1 泉谷 Sem 4	AC 1 鶴見 201	M 2 北村 201	M 1 中川 202	AC 2 鶴見 MM	B 1 鶴見 Sem 4	AC 3 山下 MM	M 3 泉谷 201
6:10 - 7:40	MX 金山 Sem 4	M 1 北村 201	MX 泉谷 Sem 4	M 4 鶴見 201	PAd 北村 201			MX 鶴見 Sem 4		

\*Sem. 4 is located on the 2<sup>nd</sup> F1. in Bldg. 5, Yushima.

\*AC 2=Meet at Multimedia Rm, ISC.

\*AC 3=Meet at Multimedia Rm, ISC.

*There will be no need to take a placement test again if you are  
a continuing student from the Spring term.*

**JUST COME TO THE CLASS!**



## 「日本語研修コース」開講式 —留学生センター—

平成13年度後期（10月スタート）の日本語研修コースの開講式が、10月9日（火）午前10時から日本語研修生14名と、学内関係者が列席して行われました。

開講式は、佐藤上席学長特別補佐の歓迎の挨拶で始まり、板橋留学生センター長の挨拶の後、日本語研修の今後の抱負を交えた自己紹介と、最後に記念撮影を行い終了しました。

本コースは、大使館推薦による国費留学生（研究留学生）を対象に、日本での留学生生活を送る上で、必要な基礎的日本語能力を身につけさせるため、6か月間に渡り集中して日本語教育を実施するものです。

これまで、本学で受け入れをした日本語予備教育生は留学生センターを持たない医科大学等と本学の留学生で日本語研修コー

スを実施してきましたが、今回の第3期生は、北大、東北大、金沢大、群馬大、広島大の留学生センターを有する大学等からの留学生で、6か月間（平成14年3月迄）本学で日本語予備教育を実施することになりました。



## 平成14年度4月期国際交流会館の入居募集

外国人留学生、研究者の皆さんが本学での教育・研究の交流の場と生活の場となる施設（国際交流会館）の4月期入居募集を次の要領で行います。

### 1. 応募資格

- (1) 外国人留学生（平成14年4月期からの入居を希望する者）
- (2) 外国人研究者（平成14年4月から9月までの間に入居を希望する者）
- イ．外国人研究者招聘のため等による、6か月以上先の期間における入居申請は受

け付けません。

- ロ．申請時に本人が出願できない場合（本人が来日していない場合等）は代理者による申請を認めます。
  - ハ．入居期間は、外国人留学生は1年以内、外国人研究者は3週間以上1年以内です。
  - (3) 入居申請書受付期間  
平成14年1月15日(火)～1月21日(月)
  - \* 入居申請書配布及び入居申請受付は留学生課において取り扱います。
- なお、詳しくは留学生課窓口でお尋ねください。

平成14年度 **前期** 授業料免除申請受付

—学部学生・大学院学生—

## 1. 授業料免除について

- (1) 授業料免除制度は、経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者、あるいは、学資負担者が死亡した場合や本人若しくは学資負担者が風水害等で災害を受けた場合に、授業料の納入が著しく困難と認められる場合に許可されるものであり、したがって申請しても必ず許可されるものではない。

収入が免除基準限度額内であり家庭状況についても免除制度の趣旨に適合するにもかかわらず、学業成績が基準に達しないために不許可となっている事例が少なからずあるので、普段から十分に注意することが必要である。

- (2) 修業年限を越えて在学する者及び留年している者は、免除の対象とはならない。

(留学・病気等特別の理由による者を除く。)

- (3) 授業料免除は、世帯の収入額に限度がある。

収入限度額は、所得の種類、世帯構成、自宅通学・自宅外通学、在学課程、奨学金受給等を考慮するので一概にいけない。

- (4) 平成13年度実績：本学収入予定額の6.3%

## 2. 提出書類

- (1) 必ず提出する書類

- ①授業料免除申請書    ②授業料徴収猶予申請書    ③家庭調書    ④住民票  
⑤本人の収入状況等に関する申告書

- (2) 該当者のみ提出する書類

- ①成績証明書（該当者のみ）  
②所得証明書（平成13年分）    ③アルバイト等収入証明書  
④兄弟等の授業料免除状況証明書（国立学校のみ）  
⑤父母が死亡・生別の場合は、戸籍謄本等の証明書  
⑥その他の証明書類

## 3. 申請書類の受付期間

区 分	受 付 期 間	備 考
在学生（新2～6年生）	平成14年 3月13日（水）～3月20日（水）	
新入生	平成14年 4月8日（月）～4月16日（火）	3年次編入生を含む。

4. 申請書類の配布 用紙の配布は、平成14年2月上旬（予定）

## 5. 申請書類提出先

提出先	厚生課	医学科・歯学科	3～6年，
		保健衛生学科	2～4年，大学院生
	教養部厚生掛	医学科・歯学科	1～2年，保健衛生学科 1年

## 平成13年度 日本育英会奨学生推薦状況

平成13年10月1日現在

区 分		予約・採用		推薦内示数		応募者数及び推薦者数												
		第 一 種	希望 21 プラン	第 一 種	希望 21 プラン	併用貸与			第一種		第一種不採用時 希望21プラン			希望21 プラン		合 計		
						応募	一種:プラン 推薦:推薦	推薦	応募	推薦	応募	一種:プラン 推薦:推薦	推薦	推薦	推薦	推薦	推薦	一種:プラン 推薦:推薦
医 学 科	1年次生	2	2	1年	1年				4	2	4	1	2	3	3	11	3	5
	編入生	-	-	次生	次生						1	0	0	1	1	2	0	1
	2年以上	-	-	12	35				1	0	2	0	1	4	3	7	0	4
看護学専攻	1年次生	2	2			1	1	1	5	1	3	0	3	3	3	12	2	7
	編入生	-	-			1	1	1	1	0	1	0	1			3	1	2
	2年以上	-	-						1	1	2	0	1			3	1	1
検査技術学	1年次生	1	2			1	1	1	3	0	2	0	2			6	1	3
	編入生	-	-						1	1	5	1	4	1	1	7	2	5
	2年以上	-	-								2	0	2			2	0	2
歯 学 科	1年次生	0	0						1	0	6	2	2	1	1	8	2	3
	編入生	-	-	(0)	(0)				3	0				(1)	(1)	(1)	(0)	(1)
	2年以上	-	-	(0)	(0)				1	0				(1)	(1)	(1)	(0)	(1)
合 計		5	6	(0)	(0)	3	3	3	21	5	28	4	18	(2)	(2)	(2)		(2)
博士(医・歯)	1年次生	45	0	(22)	10				25	1	14	4	10	0	0	39	5	10
	2年以上	-	-	(22)	0				5	4						5	4	0
修士課程・ 博士(前期)	1年次生	0	0	(3)	(0)				10	3	18	7	6	(1)	(1)	(1)	(3)	(1)
	2年次生	-	-	(3)	0				0	0						0	0	0
博士(後期)	1年次生	-	-	(1)	(1)				6	4						6	4	0
	2年以上	-	-	(1)	(1)											(0)	(0)	(0)
合 計		45	0	(26)	(1)	0	0	0	46	12	32	11	16	(1)	(1)	(1)	(25)	(1)

学部学生歯学科の上段( )内の数は、2次募集分である。なお、本学の推薦枠はない。

大学院生の上段一種奨学金( )内の数は、追加調整分である。4月応募者から適格者を選定し推薦した。なお、希望21プラン奨学金については2次募集分である。また、推薦内示数の網かけ部分は1年次生と併用である。

## 平成14年度入学者選抜

「本学の学生としてふさわしい人格・識見ともに優れた人材を選抜する」ことを目的として、本年度も入学者の選抜試験を実施します。

実施に当たっては、例年同様、教職員の皆様方に協力要請をお願いする予定でありますので、ご協力方よろしくお願ひいたします。

また、医学部保健衛生学科看護学専攻の推薦入学選抜（特別選抜）は、39名の出願があり、第一次選考及び第二次選考を行い、12月6日（木）に最終合格の発表が行われました。

### 募集要項の配布

私費外国人留学生募集要項（特別選抜）は10月15日（月）から、一般選抜の募集要項は11月5日（月）からそれぞれ配布しております。

また、出願受付は私費外国人留学生（特別選抜）が12月10日（月）から17日（月）午後5時必着）まで、一般選抜は来年の1月28日（月）から2月6日（水）午後5時必着）までとなっております。

### テレホンサービス

平成14年度入学者選抜に関するテレホンサービスの内容は、前期日程及び後期日程試験を区分し、次のとおり行っています。

#### 1) 電話番号

前期日程試験関係 03 5803 5085

後期日程試験関係 03 5803 5086

#### 2) 提供期間・内容等

案内事項	提供期間		サービス内容等
	前期	後期	
1) 募集要項選抜日程等	10月1日～1月27日	10月1日～1月27日	要項請求方法、学生募集概要、選抜試験実施日程
2) 志願状況	1月28日～2月11日	1月28日～2月27日	募集定員、志願者数、志願倍率
3) 2段階選抜の状況 個別学力検査案内等	2月12日～2月27日	2月28日～3月13日	第1段階選抜実施状況、学力検査、面接、小論文試験等の時間割、会場等、注意事項
4) 合格発表日時 入学手続案内等	2月28日～3月8日	3月14日～3月26日	発表日時・場所、入学手続
5) 追加合格日時等	3月9日～3月31日	3月27日～3月31日	追加合格日程

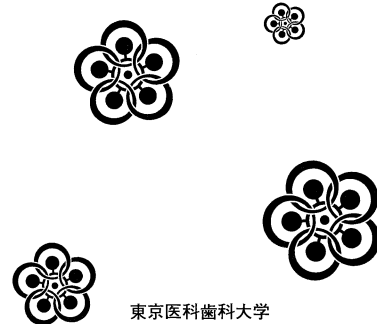
平成14年度  
私費外国人留学生募集要項



東京医科歯科大学

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45  
電話 (03) 5803-5083・5084  
<http://www.tmd.ac.jp>

平成14年度  
東京医科歯科大学 学生募集要項



東京医科歯科大学

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45  
電話 (03) 5803-5083・5084  
<http://www.tmd.ac.jp>

## 平成13年度定期健康診断結果について

保健管理センター 所長 谷 合 哲

平成13年度定期健康診断は、4月24日（火）に国府台キャンパスで、教養部の学生と職員について行いました。また湯島地区と駿河台地区の学生と職員については、5月8日（火）から10日（木）まで、および5月15日（火）から17日（木）までの間に行いました。場所は5号館2階の保健管理センターおよびその周辺のゼミナール室を使用しました。受診状況は表に示すとおりで、総数3,244名が受診し、学生は1,909名受診率60.6%、職員は1,335名受診率55.2%でした。本年も図に示すようにバーコードカードを個人票として、全自動無線入力システムを使用して実施しました。昨年の経験もあり自動計測により比較的スムーズに施行することができました。

定期健診は身体計測、血圧測定、胸部X線検査、検尿など比較的簡単な健診ですが、健康情報の基本になる健診ですので、ぜひ受診していただきたいと思います。学年によっては受診率がきわめて低い学年があります。基本的な項目のみとはいえ重要な健診ですから、侮らずにぜひ受診して下さい。また、奨学金、進学、国家試験、就職などに必要となる健康診断書は、この定期健診の結果を根拠として作成します。定健を受診していないと診断書を作成することができません。改めて病院や医院を受診して診断書を作成すると、驚くほど高額な経費と時間

がかかります。

精密検査、再検査を要する人は、胸部X線検査で55名1.7%、血圧測定で247名7.7%、検尿で544名16.9%となり、7月中旬までに再検尿もすべて終了しました。そのうち胸部X線については要治療となった人が4名あり、そのなかで3名の学生が結核で要治療となりました。いずれも軽症で無事治療が進んでいます。近年結核が増加しているといわれています。本学ではここ数年は新発症の結核はなかったのですが、本年は軽症とはいえ治療を要する結核症が3名も出たことは、結核増加の傾向を表しているものと思われます。全員受診して早期発見、早期治療により大事にいたらないようにして下さい。

尿検査では尿糖、尿蛋白、尿潜血を検出した人が544名おりました。血圧高値で要再検となった人も247名となりました。再検査で異常があり、再々検査をして異常があり、受診を勧めた人も少数ではありますがありました。

定期健診は基本的な検査ではありますが、生活習慣病などの発見に有力な手段になりますし、重大な疾患の早期発見にも有力です。本学の学生・職員はすべて医療関係者であり、院内感染の危険があるハイリスクグループに属しています。健康診断で発見できる疾患に罹患して感染源になることは許されません。医療人としての自覚をもって必ず受診して下さい。

平成13年度 一般定期健康診断 受診状況(学生)

学部	学科	学年	在籍者数(人) ( )内は女子を 内数で示す A	受診者数(人)		各項目別 受診状況								
				B	受診率 (%) B/A	胸部 X 線			血圧			検尿		
						受診者 (人) C	要再 検者 (人) D	要再検 者の比 率(%) D/C	受診者 (人) E	要再検 者(人) F	要再検 者の比 率(%) F/E	受診者 (人) G	要再検 者(人) H	要再検 者の比 率(%) H/G

【学部学生】

教養部	医学科	1	77( 24 )	76	98.7	76	0	0.0	76	13	17.1	75	3	4.0	
		2	78( 18 )	45	57.7	45	0	0.0	45	6	13.3	45	9	20.0	
		保健衛生学科 看護学	1	50( 47 )	48	96.0	48	0	0.0	48	4	8.3	48	4	8.3
		保健衛生学科 検査技術学	1	30( 28 )	28	93.3	28	0	0.0	28	2	7.1	28	11	39.3
		歯学科	1	56( 23 )	56	100.0	56	0	0.0	56	3	5.4	56	9	16.1
	2		58( 20 )	21	36.2	21	0	0.0	21	2	9.5	21	5	23.8	
教養部	小計		347( 160 )	274	78.5	274	0	0.0	274	30	10.9	273	41	15.0	

医学部	医学科	3	91( 24 )	71	78.0	71	0	0.0	71	3	4.2	71	8	11.3	
		4	88( 23 )	57	64.8	57	1	1.8	57	5	8.8	57	5	8.8	
		5	82( 20 )	48	58.5	47	2	4.3	48	4	8.3	48	9	18.8	
		6	86( 21 )	84	97.7	82	2	2.4	83	9	10.8	84	12	14.3	
		保健衛生学科 看護学	2	51( 50 )	32	62.7	31	0	0.0	32	0	0.0	32	2	6.3
	3		65( 64 )	43	66.2	43	2	4.7	43	0	0.0	43	10	23.3	
	4		60( 56 )	50	83.3	50	1	2.0	50	0	0.0	50	12	24.0	
		保健衛生学科 検査技術学	2	31( 29 )	17	54.8	17	0	0.0	17	0	0.0	17	2	11.8
	3		42( 31 )	36	85.7	36	0	0.0	36	4	11.1	36	5	13.9	
	4		39( 31 )	35	89.7	35	1	2.9	35	1	2.9	35	3	8.6	
	医学部	小計		635( 349 )	473	74.5	469	9	1.9	472	26	5.5	473	68	14.4

歯学部	歯学科	3	82( 35 )	70	85.4	69	1	1.4	70	5	7.1	70	5	7.1
		4	82( 32 )	59	72.0	55	1	1.8	59	2	3.4	59	9	15.3
		5	67( 33 )	58	86.6	58	1	1.7	58	3	5.2	58	6	10.3
		6	71( 28 )	68	95.8	68	0	0.0	68	4	5.9	68	7	10.3
歯学部	小計		302( 128 )	255	84.4	250	3	1.2	255	14	5.5	255	27	10.6

【大学院生・専攻生等】

大学院生		962( 406 )	542	56.3	524	8	1.5	542	26	4.8	541	101	18.7
専攻生		780( 354 )	229	29.4	228	1	0.4	229	15	6.6	229	43	18.8
日本語研修生		-( - )	12	-	12	0	0.0	12	1	8.3	12	2	16.7
その他共同研究生		-( - )	6	-	6	0	0.0	6	0	0.0	6	2	33.3
大学院生・専攻生等	小計	1,748( 760 )	789	45.3	770	9	1.2	789	42	5.3	788	148	18.8

在籍者数については、人数が未定

【附属学校生】

歯科衛生士学校	1	30( 30 )	30	100.0	30	0	0.0	30	0	0.0	30	3	10.0
	2	28( 28 )	27	96.4	27	1	3.7	27	0	0.0	27	6	22.2
歯科技工士学校 本科	1	20( 15 )	20	100.0	20	1	5.0	20	0	0.0	20	3	15.0
	2	20( 12 )	20	100.0	20	0	0.0	20	0	0.0	20	1	5.0
歯科技工士学校 実習科	1	10( 4 )	9	90.0	9	0	0.0	9	0	0.0	9	3	33.3
	2	12( 9 )	12	100.0	12	0	0.0	12	0	0.0	12	2	16.7
附属学校生	小計	120( 98 )	118	98.3	118	2	1.7	118	0	0.0	118	18	15.3

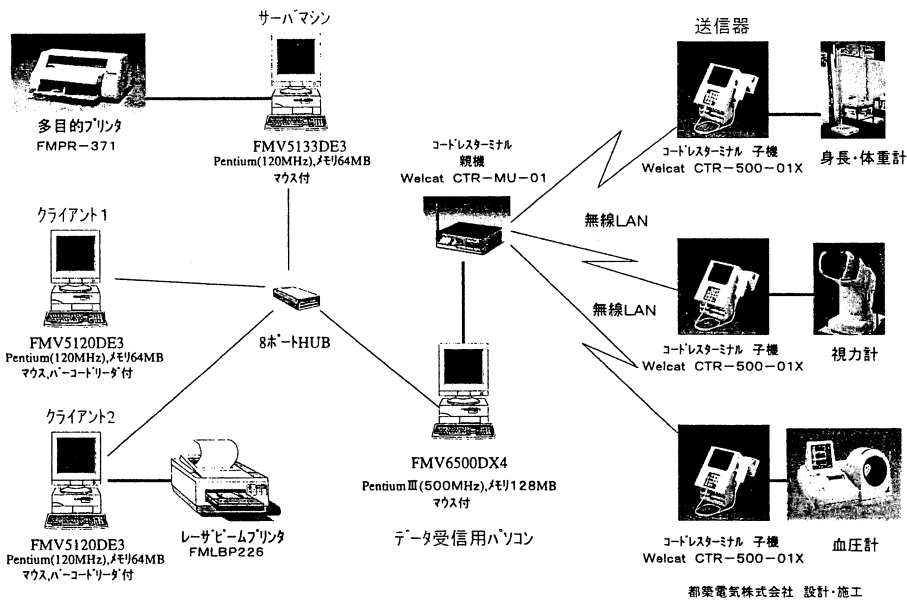
学生合計		3,148( 1,495 )	1,909	60.6	1,881	23	1.2	1,908	112	5.9	1,907	302	15.8
------	--	----------------	-------	------	-------	----	-----	-------	-----	-----	-------	-----	------

平成13年度 一般定期健康診断 受診状況(職員)

( )内は非常勤職員を内数で示している。

所属	在籍者数 (人) A	受診者数(人) B	受診率 (%) B/A	各項目別 受診状況								
				胸部 X 線			血圧			検尿		
				受診者 (人) C	要再 検者 (人) D	要再検 者の比 率(%) D/C	受診者 (人) E	要再検 者(人) F	要再検 者の比 率(%) F/E	受診者 (人) G	要再検 者(人) H	要再検 者の比 率(%) H/G
1 事務局	183( 37)	72( 18)	39.3	72	3	4.2	70	11	15.7	72	13	18.1
2 大学院	476( 89)	259( 28)	54.4	247	6	2.4	257	36	14.0	257	45	17.5
3 医学部	134( 32)	60( 37)	44.8	57	1	1.8	59	5	8.5	60	7	11.7
4 歯学部	74( 22)	25( 7)	33.8	25	0	0.0	25	4	16.0	25	3	12.0
5 教養部	46( 6)	11( 2)	23.9	10	0	0.0	10	5	50.0	11	1	9.1
6 医学部附属病院	895( 337)	502( 66)	56.1	476	14	2.9	489	29	5.9	492	93	18.9
7 歯学部附属病院	369( 219)	277( 30)	75.1	255	5	2.0	276	23	8.3	274	54	19.7
8 生体材料工学研究所	64( 14)	30( 7)	46.9	30	1	3.3	30	6	20.0	30	7	23.3
9 難治疾患研究所	121( 35)	69( 18)	57.0	64	2	3.1	69	14	20.3	69	15	21.7
10 附属教育施設等	12( 3)	12( 3)	100.0	11	0	0.0	12	0	0.0	12	1	8.3
11 学内共同教育研究施設	45( 26)	18( 6)	40.0	16	0	0.0	18	2	11.1	18	3	16.7
職員合計	2,419( 820)	1,335( 222)	55.2	1,263	32	2.5	1,315	135	10.3	1,320	242	18.3
学生・職員総計	5,567	3,244	58.3	3,144	55	1.7	3,223	247	7.7	3,227	544	16.9

東京医科歯科大学保健管理機器構成図



## 宿 泊 施 設 案 内

### 南房総へ花摘みに行きませんか！

#### ○館山大賀寮

所在地 千葉県館山市大賀無番地

施設 ①収容人員 53名 ②宿泊室 12室 ③研修室 2室 ④テニスコート 1面 ⑤駐車場

交通 JR(東京駅 - - 内房線 特 急 - - 館山駅) 1時間50分

マイカー(首都高・アクアライン・富津館山道路) 2時間30分

経 費 宿泊費 700円, 食費 1,400円(夕朝), 暖房費 200円

使用申込・問い合わせ 厚生課 TEL 03 - 5803 - 5079

#### みどころ・催事等

①花摘み 温暖な花畑には、色鮮やかな花が咲き乱れます。

ポピー、ストック、菜の花、キンギョソウ、キンセンカ(12月～4月)

さざんか、すいせん (1月)

マーガレット、うめ、つばき (2月～3月),

さくら、つつじ (4月)

(問い合わせ: 館山市観光協会 TEL 0470 - 22 - 2000)

②いちご狩り

真っ赤に熟したイチゴは、甘くて新鮮です。

1月上旬から5月上旬まで楽しめます。

(問い合わせ: 館山市観光協会 TEL 0470 - 22 - 2000)

③館山若潮マラソン大会

毎年1月の最終日曜日に開催されます。

(問い合わせ: 館山市教育委員会 TEL 0470 - 22 - 3111内652)

### 赤倉でシュプールを描きませんか！

#### ○妙高高原赤倉寮

所在地 新潟県中頸城郡妙高高原町赤倉温泉

施設 ①収容人員 38名 ②宿泊室 7室 ③ゲレンデまで1分 ④町営駐車場まで2分

交通 JR(東京駅 - - 長野新幹線・信越線 - - 妙高高原駅) 2時間30分

マイカー(関越・上信越自動車道路) 3時間30分

経 費 宿泊費 700円, 食費 1,450円(夕朝), 暖房費 200円

使用申込・問い合わせ 厚生課 TEL 03 - 5803 - 5079

スキーシーズン中は利用者が集中しますので、抽選となることがあります。

#### みどころ・催事等

2001ホワイトクリスマス in 新赤倉 12月23日

妙高杉ノ原どんど焼・雪上花火大会 1月19日

2002池の平かまくらカーニバル 3月16日

この他たくさん行事が開催されます。

(問い合わせ: 妙高高原町 TEL 0255 - 86 - 3131)

#### ゲレンデ情報

妙高山麓に無料シャトルバス新登場!(赤倉温泉～妙高杉ノ原スキー場間)

積雪情報, ゴンドラ情報, 天候情報が妙高高原町ホームページで見られます。

<http://www.myoko-kogen.or.jp>

(問い合わせ: 妙高高原町 TEL 0255 - 86 - 3131)



## 学生サークル組織状況

本学の学友会には、体育系や文科系のクラブ、あるいは同好会が多数あって、個性を磨き育成する場として、また人間形成の場として、重要な役割を果たしています。下記の表は、各サークルの組織状況を示すものです。

《東京医科歯科大学学生サークル組織状況》 (平成13年11月1日現在)

サークル名	顧問 教 官	部員数	部員の内訳					サークル名	顧問 教 官	部員数	部員の内訳					
			性別		学科別						性別		学科別			
			男	女	医	歯	保				男	女	医	歯	保	
文化系【15サークル】							硬式野球部	一條秀憲	29	22	7	12	10	7		
English Speaking Society	丸茂文昭	12	11	1	10	2	0	卓球部	湯浅保仁 鈴木直	18	16	2	4	14	0	
お茶の水管弦楽団	桶田理喜彦 田中智彦	55	20	35	28	17	10	ラグビー部	峰下 哲	40	27	13	12	16	12	
混声合唱団	シンチン ガー・エミ	15	7	8	7	2	6	男子バスケットボール部	山下靖雄	22	19	3	11	7	4	
美術部	神奈木真理	11	4	7	8	3	0	女子バスケットボール部	眞野喜洋	9	0	9	0	1	8	
写真部	今井孝祐	11	8	3	7	4	0	サッカー部	横田浩史	45	35	10	19	13	13	
茶道部	高木 実	27	6	21	15	9	3	男子バレーボール部	北川昌伸 河野辰幸	40	17	23	7	18	15	
演劇部	板橋作美子 前沢浩	24	12	12	8	9	7	女子バレーボール部	眞野喜洋	29	0	29	3	12	14	
公衆衛生予防医学研究会		7	4	3	2	2	3	山岳部	丸茂文昭	4	3	1	2	2	0	
Modern Jazz Diggers	天笠光雄	35	23	12	15	14	6	競技スキー部	中村泰尚	24	15	9	9	13	2	
コンピュータクラブ	佐藤健次	22	14	8	6	*8	8	水泳部	田邊 勉	47	28	19	20	14	13	
文芸部	布施善克							ワンダーフォーゲル部	佐藤健次	27	17	10	11	4	12	
手話サークル	島内 節	16	2	14	2	1	13	バドミントン部	和田 勝	75	29	46	33	13	29	
国際学生交流会 S. S. I. A.	江藤一洋	41	11	30	21	20	0	ヨット部	佐藤達夫	6	6	0	3	3	0	
Tokyo Medical & Dental Piano Clubピアノの会	西岡 清	50	21	29	31	12	7	ハンドボール部	布施善克	11	11	0	5	6	0	
彫金部	徳永伸一	15	3	12	6	7	2	ゴルフ部	大山喬史 眞野喜洋	34	21	13	16	12	6	
体育系【27サークル】							陸上競技部	水野哲也	28	15	13	16	8	4		
漕艇部	黒崎紀正 布施善克	29	15	14	12	5	12	ウィンドサーフィン部								
躰道部	天笠光雄	13	9	4	10	1	2	スキューバダイビング部	眞野喜洋	29	17	12	13	14	2	
柔道部	坂本 忍	16	12	4	7	6	3	アメリカンフットボール部	土田信夫	35	25	10	18	9	8	
剣道部	宮坂信之 高野健人	21	13	8	7	9	5	同好会【3サークル】								
弓道部	丸茂文昭 海野雅浩	27	14	13	10	10	7	モンナニF.C. TMDU Futsal Team	佐藤達夫	7	7	0	2	5	0	
硬式庭球部	江藤一洋 四宮謙一	62	33	29	38	17	7	総合レジャー同好会	水野哲也	19	13	6	3	13	3	
軟式庭球部	平岡昌和 水野哲也	57	31	26	19	18	20	空手同好会	布施善克							

\* 附属学校生を含む。

## サークル紹介

## Tokyo Medical &amp; Dental Piano Club ピアノの会



ピアノの会はいつでも部員募集中です。

ピアノの会ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/3651/frame2.html>

ピアノの会は、ピアノが好きな人が集まって活動しています。ピアノを弾かない人も、多数所属し、会の活動を支えています。

主な活動は、6月の市民フォーラム（講演＋演奏会）、お茶の水祭での演奏会、12月のクリスマスコンサートで、先日のお茶の水祭のコンサートでは、「皆が精進して練習した」ことが評価され、非営利団体賞を頂きました。

M3 やまくち めぐみ  
山口 恵

## 写真部



「写真部って何をやっているんですか？」とよく聞かれますが、そんな時、部員の私も「うーん？」と考え込んでしまいます。部としての活動は、毎年、お茶の水祭に写真展を出していますが、部員はほとんどが兼部をしていて基本的には個人プレーなのです。知る人ぞ知る写真部室は5号館の7Fにあるのですが、暗室と現像機材が完備されていて、誰でも自分で撮った写真の現像、プリントをすることができます。現像は、簡単だし、結構はまりますよ。今後、写真展の見学や撮影会なども行っていきたいと考えています。

M5 やまうちしんいち  
山内慎一

## 陸上部

陸上部は部員20人を越しますが、シェイプアップをしたい初心者から記録を狙う本格的な人までさまざまです。練習は市川のスポーツセンターで、水曜は代々木公園で練習してます。陸上部の特徴として、他医歯薬大学と共に練習する機会にとっても恵まれ、普段は仲間であり、医歯薬リーグゲームでは良きライバルである友達がたくさんできます。我が医科歯科チームは医歯薬リーグでは、好成績を残しています。また、とてもアットホームな雰囲気の中で、練習だけでなく、ドライブ・キャンプ・鍋パーティなどもします。先輩・後輩の仲もとてもいいです。



D3 みやはらはる き 宮原春樹

## 躰道部

たいどう 躰道とは、特徴的な体の動き（回す、倒すなど）を活かして敵の攻撃をかわしながら技を出す武道です。そのダイナミックな動きぶりは“21世紀の武道”と言っても過言ではありません。中でも、東京医科歯科大学躰道部は40年近い歴史を持ち、明るく楽しく、それでいて練習はきっちりとしています。他大学との合同合宿やスキーツアーなどもあり交流が盛んで、すごくたくさんの人と友達になれます。皆さん、そんな躰道部に是非ご注目下さい！随時部員募集中です。

M4 みやしたひろ き 宮下宏紀



# 生活習慣病の元凶、 高脂血症とは？

## インタビュー

谷合 哲 (保健管理センター所長)

近年、生活習慣病の危険について特に関心が高まり、肥満、高血圧、高脂血症、高血糖が合併した場合、死の四重奏といわれ特に危険であるといわれています。そのうちのひとつの高脂血症は、本学職員にも多く、治療をしている人も大勢います。また学生時代から肥満気味で、高脂血症を指摘される人も多くなってきました。そこで今回は、高脂血症や糖尿病を専門に研究、診療しておられる老年病内科講師の田中 明先生に高脂血症についてうかがいました。



田中 明 講師  
医学部附属病院  
老年病内科

高脂血症とは、血液中にコレステロール(C)や中性脂肪(トリグリセリド: TG)の増加する状態をいいます。Cは私達の体を構成する細胞の成分であり、脂肪の消化を助ける胆汁酸や性ホルモン、副腎ホルモンの原料になる重要な成分です。しかし、過剰のCは動脈壁に沈着して動脈硬化巣を形成し、心筋梗塞、脳梗塞などの動脈硬化性疾患を生じ

# 健康コラム



このコーナーを担当  
していただく  
保健管理センター所長  
谷合 哲 教授

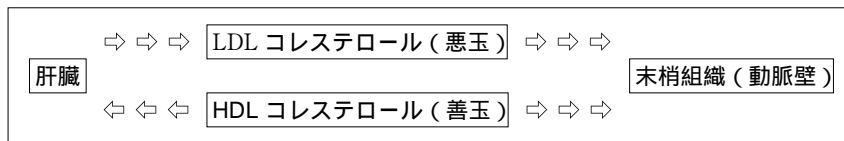
る原因となります。Cには肝臓から動脈壁などの末梢組織に運ばれるLDLコレステロール(LDL-C)と、逆に末梢組織から肝臓に運ばれるHDLコレステロール(HDL-C)があります。LDL-C増加は動脈壁のC沈着を増加するので悪玉コレステロール、HDL-C増加は動脈壁のC沈着を減少させるので善玉コレステロールと呼ばれます。総コレステロール(TC)が高値でも、HDL-Cの高値によるものなら問題ありません。逆に、TCが正常でも、HDL-Cが低値であれば問題です。つまり、C値はTCで評価するのではなく、LDL-CとHDL-Cのバランスで評価する必要があります(図)。

LDL-Cの治療目標値については、現在、日本動脈硬化学会で日本人のデータを基にした新しい基準が検討されています(表)。この基準は動脈硬化危険因子をいくつ持っているかが重視されています。HDL-Cは40mg/dl以上が目標値とされています。

TGはエネルギー貯蔵用の脂肪です。過剰のTGが肝臓に蓄積すると脂肪肝、脂肪組織に蓄積すると肥満になります。1,000mg/dlを越える著明な高TG血症は急性膵炎を生じます。また、最近の研究により高TG血症が動脈硬化の原因になることも明らかになりました。TGの目標値は150mg/dl未満です。

高脂血症治療には食事・運動療法、禁煙など生活習慣の改善が重要ですが、最近、優秀な薬剤が出現し確実に治療が可能となりました。高脂血症は症状がないため、治療がおろそかにされがちですが、心筋梗塞を発症してからでは手遅れです。早めに治療しましょう。

図 悪玉(LDL)コレステロールと善玉(HDL)コレステロールのバランスが重要



TC260mg/dl と高値の場合でも

LDL-C130mg/dl, HDL-C90mg/dl なら問題なし  
LDL-C190mg/dl, HDL-C30mg/dl なら問題あり

TC200mg/dl と正常値の場合でも

LDL-C120mg/dl, HDL-C60mg/dl なら問題なし  
LDL-C160mg/dl, HDL-C20mg/dl なら問題あり

表 カテゴリー別の治療目標

カテゴリー	虚血性心疾患の有無	他の危険因子の数*	脂質管理目標値 (mg/dl)			
			TC	LDL-C	HDL-C	TG
A	( - )	0	< 240	< 160	40	< 150
B 1		1 **				
B 2		2				
B 3	( - )	3				
B 4		4				
C	( + )		< 180	< 100		

\* 動脈硬化危険因子: 年齢 (男性 45歳, 女性 55歳), 糖尿病, 高血圧, 喫煙  
\*\* 糖尿病のリスクが重視されていて、糖尿病があれば B 2 以上とする。

東京医科歯科大学

## 4大学レガッタ

11月23日



鈴木学長・石学長とともに記念撮影



(関連記事本文37ページ)

### 行事案内・掲示板 原稿募集

原稿や写真(表紙含む。主に本学を題材にしたもの。)を募集しています。

行事案内・掲示板の欄は職員、学生、皆さんのページです。研究会、講演会、セミナー、特別講義、サークルの行事などの開催案内、その他にご利用下さい。

なお、本欄掲載事項に関する照会等への対応は、利用者の責任において行って下さい。

行事案内は、集会名等：日時/講師(所属)/演題等/場所/連絡先(所属・氏名・電話内線番号等)の要領で、その他の掲示板は原則として100字程度でお願いします。

原稿は広報委員あるいは総務課(1号館2階 内線4530, Eメール hiroba@tmd.ac.jp (Information, Topicsを明記))までお願いします。

発行予定日は3, 6, 9, 12月です。該当月の1ヶ月前までにお届け下さい。

### 広報委員会委員

一條秀憲(歯学部)  
大谷啓一(歯学部:委員長)  
渡橋正博(事務局長)  
北嶋繁孝(難治疾患研究所)  
畔柳和代(教養部)  
三浦修(医学部)  
宮本真巳(医学部)  
山下仁大(生体材料工学研究所)  
事務担当 総務部総務課

### 医歯大ひろば No. 85

編集 東京医科歯科大学広報委員会  
発行 東京医科歯科大学総務部総務課  
〒113 8510  
東京都文京区湯島 1 5 45  
Tel 03(5803)4530  
Fax 03(5803)0273

本学ホームページアドレス <http://www.tmd.ac.jp>  
広報委員会、医歯大ひろばに関する投稿、ご意見、  
セミナー等開催のご案内は  
メールアドレス [hiroba@tmd.ac.jp](mailto:hiroba@tmd.ac.jp)



本紙は再生紙を使用しています。

# 第50回 お茶の水祭

